



株価自動更新サービス「QUICKTRADER™」の テストマーケティング開始

11 月 6 日より株式会社 QUICK と共同運営によるサービス開始

株式会社ケイゾン(<http://www.k-zone.co.jp>)

インターネット上で個人投資家向けの金融情報サイトを運営する株式会社ケイゾン(*1) (所在地：東京都中央区、社長：吉田武司)は、株式会社 QUICK (本社：東京都千代田区、代表取締役：棚橋弘基)が開発した株価自動更新サービス「QUICKTRADER™」のベータテストプログラム(プログラム展開中は 20 分遅れの株価情報を用います)を行うこととなりましたのでお知らせします。モニターユーザは、11 月 6 日よりケイゾンの WEB サイト上で、ケイゾンの 10 万人を超える個人投資家会員の中から独占的に募集し、年末までプログラムを展開します。プログラム展開期間中および終了後に、サービス利用状況などの調査結果をサービス開発におけるマーケティング情報として株式会社 QUICK に提供することになりました。

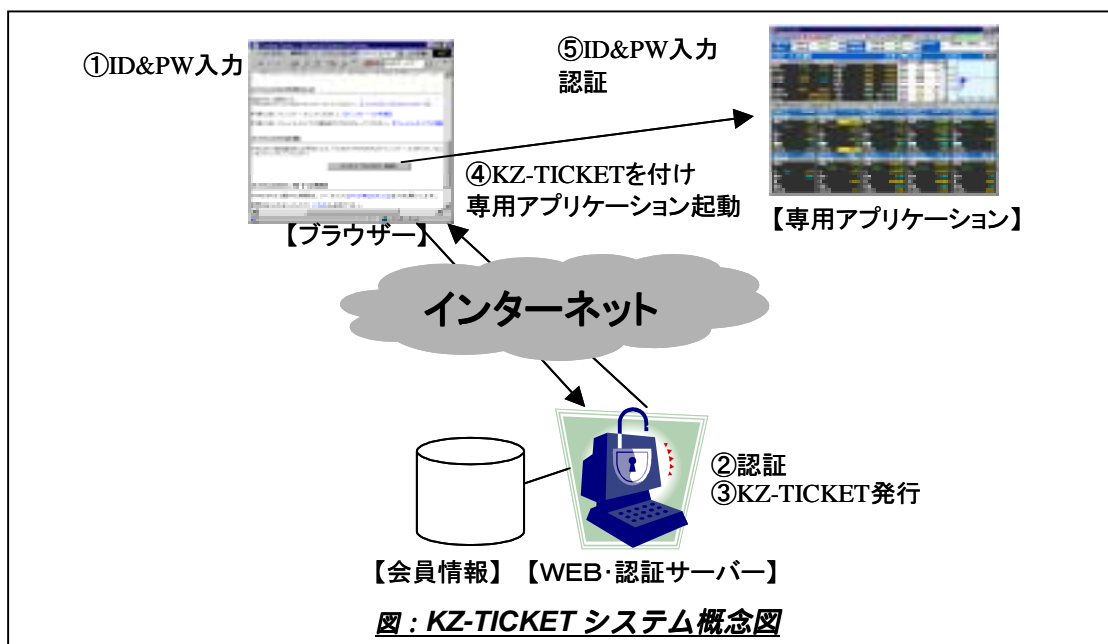
「QUICKTRADER™」は、インターネットを經由して登録されている株価情報を自動的に更新するプッシュ型の新しい技術を取り入れたサービスで、今後ますます広がるインターネット取引での本格的な投資家向けツールという位置付けとなっています。本サービスは、11 月 1 日、2 日大手町サンケイプラザにて開催される、国際オンライントレード エキスポ内の株式会社 QUICK ブースにて発表・展示されます。

ケイゾンと株式会社 QUICK が「QUICKTRADER™」のテストマーケティングを開始する背景には、既存会員に対する更なるサービス拡充を目指すケイゾンと、本格的な販売開始前に投資家に対するプロモーションを行ない、利用者の声を短期間に収集し、サービス開発にフィードバックしたい株式会社 QUICK 両社のメリットが一致したことが挙げられ

ます。

ケイゾンは1999年6月より、インターネット上で株式投資シミュレーションゲーム、株式検索などのサービスを提供し、10月26日現在会員数10万人突破するとともに、インターネット視聴率ランキング(JAR調べ)では金融カテゴリーにおいて1位にランクされるなど、順調に展開して参りました。今後は、これまでに獲得した会員データベース・実績を武器に、この度のテストマーケティングにて開発した、認証用プラットフォームであるKZ-TICKETシステム(通常のデータベースと連動し、特定会員のみインターネットブラウザより専用ソフトウェアを起動できる仕組み)を用い、本格市場投入前に投資家の反響や実績を確認したい企業に対するテストの場の提供と、ソフト・サービスの販売代行等を手がけるなど、新しい収入モデルへの挑戦を含め、新しいサービス・企画を積極的に展開しさらなるステージを目指して参ります。

<補足内容>



***1.株式会社ケイゾン（英社名：K-Zone Inc.）**

インターネット上で会員向けの金融情報サイト「Internet Trader」を運営。主なコンテンツとして、セミリアルタイムで株価が変動する投資シミュレーション・ゲーム「Trading Derby」、日本証券業協会監修の「TENTOU THE MARKET」、 「Trading Derby」のiモード版の「Try@ iTrade」、 株価検索サービスの「Stock Quote」など。

ケイゾン提供サービスの概要

（ケイゾン会員は下記のすべてのサービスがご利用できます。会員登録は無料。）

- **Trading Derby：**
（トレーディング・ダービー）
インターネットを利用した投資コンテスト。参加者に擬似的に与えられる 1 億円の資金を、セミ・リアルタイム（20 分遅れ）の時価情報に基き、東証 1 部・2 部・マザーズ上場株式（外国株は対象外）大証 1 部・2 部上場株式（外国株を除く）及び店頭登録株式で運用し、運用成績を競う本格的な擬似売買ゲーム。過去の開催実績は以下（参考）の通り。
- **Stock Quote：**
（ストック・クォート）
株価検索機能。一定の検索条件から銘柄の「逆引き」が可能な「マニアック検索」が特長。リニューアル後は、チャート機能も充実。Trading Derby・TENTOU THE MARKET とリンクし、利便性アップ。
- **TENTOU THE MARKET：**
（テントウ・ザ・マーケット）
インターネットを利用した投資コンテスト。店頭登録株式の運用成績を競うゲームで、仮想資金 1 億円を、セミ・リアルタイム（20 分遅れ）の時価情報に基き運用する。主に店頭登録企業が扱う商品を成績優秀者向けの賞品とするなど、将来は企業 PR の場としての展開を目指したアプリケーション（監修：日本証券業協会、協賛：日経新聞社マルチメディア事業部）。
- **Try@iTrade ゲーム：**
（トライ・アイ・トレード）
「iモード」上での株式の擬似売買ゲーム。

以上